

**P2P配信技術の現状と希望をニコニコ語ろう
～コンテンツ事業者2.0の事情～**

JANOG21 2007年1月25日 AM 10:45～12:25

伊勢 幸一

株式会社ライブドア
livedoor Co., Ltd.

警告

このプレゼンテーションでは

主に、

技術的視点ではなく

お金の話をしますっ!

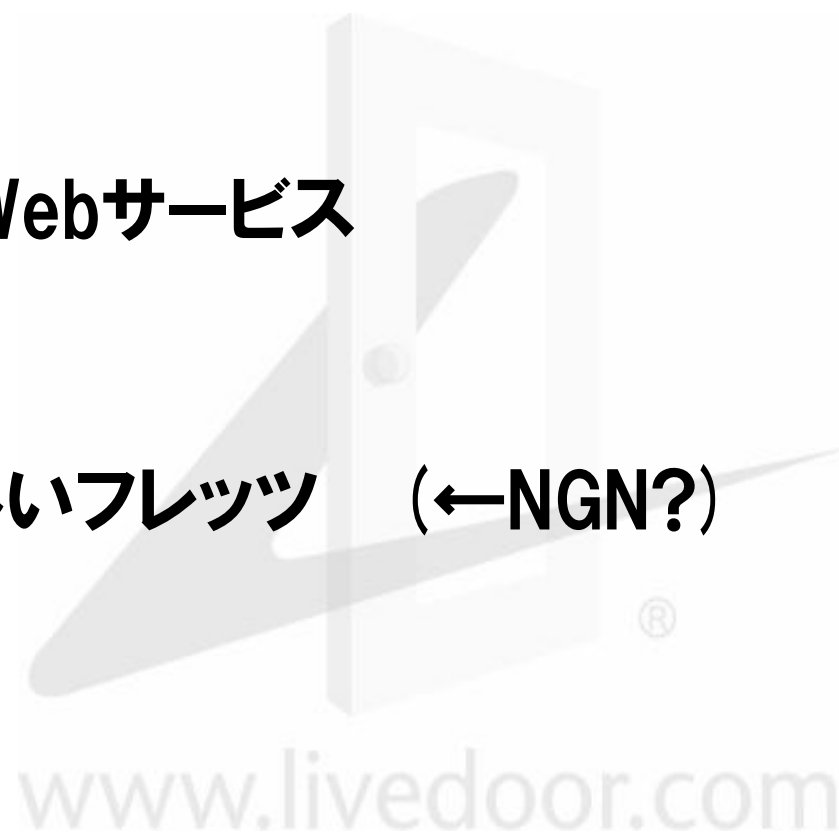
www.livedoor.com

■ 語句説明 2.0 の解釈

2.0 =なんとなくあたらしい

Web2.0 =なんとなく新しいWebサービス

フレッツ2.0 =なんとなく新しいフレッツ (←NGN?)



■ コンテンツ事業者「2.0」とは

**「コンテンツ自体の製作はせず、
コンテンツをマッチングさせる」**

**「サービス受益者から直接徴収せず、
間接収入を原資とする」**

つまり、

広告収入を原資とした無料サービス

さて、動画でっていう

www.livedoor.com

■ 動画配信事業

有料VOD
有料ライブ
有料イベント

無料VOD
無料ライブ
無料イベント

国内

ニコニコ動画、Yahoo動画、Biglobeストリーム、Gyao!、

海外

Youtube、Joost、Zattoo、Babelgum、Veoh、Miro、Hulu

■ 有料配信事業の落とし穴

有料の場合

収入＝視聴料（1視聴 100～300円）

有料 ← リッチコンテンツ

映画、人気TV番組、アニメなど

莫大なコンテンツライセンス

www.livedoor.com

■ コンテンツライセンスとは

取っ払い型（一括払い） 1映画当たり数百万

レベニューシェアー型 50%-50%

手数料型 70%以上がライセンス

コンテンツホルダーが損をしないようになっている

有料コンテンツ配信は不毛

www.livedoor.com

■ 2.0(無料配信)だと

コンテンツライセンス軽減

設備の初期投資が小さい

すべてハッピー



甘いっ！

www.livedoor.com

■ 広告収入とは

TV広告

単位はGRP (=グロス・レーティング・ポイント)
視聴率 x 本数
1GRP = 5万円~15万円

新聞広告

単位はページ
1ページ = 1500万円

ネット広告

Webサイト 単位はPV (ページ・ビュー)
1PV = 0.05~0.1円
現在はインプレッション、PPCなども

動画サイト

単位はSt (ストリーム)
1St = 2円

有料視聴に比べて、なんたる薄利っ！

しかし、他に道は無いっ！

■ 配信システムを考えると

1ストリーム は 平均 500kbps

サーバ1台当たり、最大同時100接続

サーバ1台当たりのアカウント数

× 25円 = 月額広告収入

サーバ1台当たりの月額運用費

や、、、やめようかな... www.livedoor.com

■ ん？ P2Pってどーよ？

うわさによると、、、

ユーザ数と設備投資が同期しない

ほんまかいな？

たしかに、配信サーバと回線設備は削減できる

そのかわり、視聴統計システムが必要

動画プレイヤー開発&維持コストが必要

■ ん？ P2Pってどーよ？

イベントライブはP2P分散率高し

しかし、収益薄し

VODはP2P分散率高し、

しかし、ストレージコスト高し

ライブはP2P分散率低し、

しかし、ストレージコストは低いが、サーバコスト高し

■ ん？ P2Pってどーよ？

その他、既知の問題点

- ・広告露出技術
- ・視聴数統計技術
- ・著作権、複製権

はたして！

本当にP2Pでコストは下がるのか？

どーよ？

■ さて、← 結論

プロフェッショナルな方々に

← バトンタッチッ！

